

データに基づいた教育改善

■講師

清水 栄子（愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 講師）

安田女子大学文学部英語英米文学科卒業。桜美林大学国際学研究科大学アドミニストレーション専攻修士課程修了。広島大学教育研究科人間科学専攻博士課程修了（博士（教育学））。2015 年 4 月より現職。愛媛大学で教育に関わる IR を担当。SPOD フォーラムでの IR に関わる研修および教職員能力開発拠点 IRer 養成講座（2014, 2016）の講師担当。教職員能力開発拠点 SDC/SPOD-SDC。

■プログラム概要

学内にはさまざまなデータがあります。しかし、そのままでは多くのデータはある事実を表した無機質なものです。データを意味のある情報へと変換することが、IRの業務の本質であり醍醐味と言われています。そのためには、データの持つ意味や他のデータとの関係など、問題意識を持って分析し、解釈していくことが必要とされます。

本プログラムでは、意味ある情報への変換、その情報をどのように解釈し、情報提供をすることによって改善へと結びつけていくのか、というステップについて実践事例を通じて紹介します。ワークや参加者の皆さんのこれまでの取組について共有していく中で、所属大学でのデータを用いた教育改善についてのヒントを見つけて頂きたいと思います。

■準備物や事前課題

教育改善に資するデータを活用した学内での取組について把握しておきましょう。

■主な受講対象

データに基づいた教育改善に興味のある教職員。経験がない方の参加を歓迎します。

■本プログラムの到達目標

1. IRの標準的なプロセスと課題を自分の言葉で説明できる。
2. IRの知識と技術を所属大学の教育改善の具体的事例に適用することができる。
3. 多様な考え方や経験を尊重し、参加者間で共に学びあう雰囲気貢献することができる。

■日時・場所

日時：平成29年8月23日（水）10：00～12：00

場所：徳島大学常三島キャンパス